

教えて!

市立病院

vol.54

市立病院総務課企画財務担当 ☎ 22-2450

テーマ

がんで死なないために、できることがあります

今月のドクター
第2内科
(消化器内科) 長
佐藤智佳子 医師



先日、青森県のがん検診の調査で見落としが多かったという衝撃的な報道がありました。そもそも検診を受けなければ、通常、自覚症状が出るまでがんは見つかりません。

平成27年度の本市のがん検診の受診率は、胃がん検診で対象者の17.0%と県内市町村でワースト2位(県全体26.6%)、大腸がん検診も26.3%と同様にワースト2位(県全体38.7%)で特に低率でした。検診で要精検となった人では、胃がんが1.5%、大腸がんが2.71%の人に見つかりました。(出典：平成27年度山形県がん検診成績表)

一般的に検診で発見されたがんは、自覚症状が出てから発見されたがんに比べて、早期がんあるいは進行がんでも転移していないことが多く、内視鏡治療や手術で治療できる場合が多いので、検診を受ければがんの早期発見、早期治療につながります。

また、胃がんと肝臓がんの一部では、治療によりがん

そのものの発生を予防できます。

胃がんの原因のひとつである慢性胃炎は、ヘリコバクター・ピロリ感染によって生じることが多く、除菌により胃がんの発生が減少することが分かっています。また、肝臓がんの多くは、C型肝炎ウイルス(HCV)に感染し、慢性肝炎、肝硬変になった人に発生しますが、抗ウイルス薬によってHCVが排除できると肝臓がんの発生が少なくなることが分かっています。どちらも保険診療で検査、治療ができますので、これまで調べたことのない人には、一度調べてみることをお勧めします。がんの早期発見、予防により、健康で長生きしませんか。

【市立病院で実施している検診】子宮がん検診、乳がん検診、肝炎ウイルス検診、鷹山ドック

詳しくは9月30日(土)10時からすこやかセンターで開催する「市民公開セミナー」でお話します。